【修正版】赤﨑教授　甲南高校での挨拶

　甲南高校創立110周年記念事業実行委員長・鎌田六郎様、甲南高校同会会長・石田新憲様、甲南高校同窓生の皆さん、甲南高校教職員の皆さん、甲南高校生の皆さん！

この度は、私の記念碑を建立して戴き、真に恐縮したしますとともに、感謝の念に堪えません。

私は高性能青色LEDの実現を目指して、世界中の研究者が諦めていた窒化ガリウムに挑戦して参りましたが、只今、除幕させて戴き、「記念碑が窒化ガリウム結晶に合わせて六角柱、また敷石も六角形網目模様に造られている」ことに気づき、改めて感動いたしました。

　私は、1942年に二中に入学し、46年旧制七高に行くまで、ここ蔦のある白亜の校舎で素晴らしい先生方のご薫陶を戴きました。

　一方、当時は第二次大戦下で、3年次は、鹿屋で掩体壕造り、4年生になると佐世保海軍工廠へ学徒動員され、先生方や同級生と苦楽を共にして参りました。また45年になると鹿児島市は言うに及ばず、私の故郷である知覧のような田舎町でも空襲を受けるなど、極めて困難な時代ではありましたが、振り返ると、私の精神文化は、二中時代を含む鹿児島時代に作られたと思っております。

　この南日本新聞の記事は、2001年、私が朝日賞を受賞した時、東京二中同窓会主催の祝賀会の時のもので、今、申し上げた私の思いを伝えています。

　その母校二中（現甲南高校）に、私の記念碑を建立して戴くことは、無上の光栄に存じます。

　この度の記念碑建立にあたり、鎌田実行委員長、石田会長をはじめ同窓会の皆様、甲南高校の教職員、生徒の皆様方には、大変なご苦労がおありだったことと拝察申し上げます。

　改めて衷心より深謝の意を表しますとともに、皆様方のますますのご健勝と、甲南高校並びに同窓会の一層のご発展を祈念いたします。ありがとうございました。

2015年6月25日　赤﨑　勇